

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	滝澤永造
		全体計画						経費区分		-		内線	3612
事務事業名	4272 中学校国際化教育推進事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100302 教育費・中学校費・教育振興費											
	事業	030000 中学校国際化教育推進事業											
事業目的							事業概要・効果						
生徒の言語や文化の理解の深化、積極的なコミュニケーション態度の育成、聞く・話す・読む・書くの4技能の基礎能力を向上させ、コミュニケーション能力の基礎を養う。							市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力を高めていけるように役立てていく。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
常盤中学校に98日、墨坂中学校に114日、相森中学校に115日、東中学校に93日、外国語指導助手（ALT）の派遣をした。	常盤中学校に98日、墨坂中学校に114日、相森中学校に115日、東中学校に93日、支援学校に5日、外国語指導助手（ALT）の派遣をした。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
常盤中学校に99日、墨坂中学校に115日、相森中学校に104日、東中学校に93日、支援学校に5日、外国語指導助手（ALT）の派遣をした。	市内中学校に国際化教育推進のため外国語指導助手（ALT）を派遣する。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		8,658	8,658
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		8,658	8,658
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	272.5	272.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	272.5	272.5
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		8,930.5	8,930.5

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	8,658	英語指導助手委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	8,658	英語指導助手委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	生徒が直接外国人と接し、英語を聞いたり、話したりすることで、語学力の向上と国際理解の向上を図るため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	生徒が直接外国人に接することで、言語や文化の理解や積極的なコミュニケーション態度の育成、聞く・話す・読む・書くの4技能の基礎能力を高めていけるようにしている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	外国語指導助手2名を全中学校に派遣し、直接外国人に接することで外国語に対する興味や関心を高め、語学力や国際理解の向上に努めることができる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生徒の言語や文化の理解の深化、積極的なコミュニケーション態度の育成、聞く・話す・読む・書くの4技能の基礎能力を向上させ、コミュニケーション能力の基礎を養うことができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

国際理解教育の重要性が益々高まっているなか、継続的が重要。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

情操教育を一層推進するために、機器整備が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--